

トークイベント 料金：1,000円 小・中学生500円

「世界が愛する俳優 三船敏郎の素顔」 10月8日(土) 15:00~

チケット発売日:9月17日(土)



ゲスト：三船史郎さん

1950年三船敏郎の長男として東京に生まれる。成城学園在学中の1970年『そのひとは女教師』でデビュー。続いて三船プロダクション製作『二人だけの朝』に出演。2000年公開の『雨あがる』に出演し、日本アカデミー賞優秀助演男優賞を受賞。その他の出演作に『鯛ノ記』などがある。現在、三船プロダクション代表取締役を務めている。

*13時~『羅生門<デジタル完全版>』上映あり



ゲスト：三船力也さん

1988年東京に生まれる。祖父は三船敏郎。上智大学、ニューヨークフィルムアカデミー卒業。1998年香港・ゴールデンハーベスト製作の『ホーク/B計画』にて父である三船史郎と共演。その後は『青空のゆくえ』『日輪の遺産』『日本のいちばん長い日』などに出演し、現在はプロデューサーとして活躍。

「黒澤組から初監督作『雨あがる』へ」 11月3日(木・祝) 15:00~

チケット発売日:10月15日(土)



ゲスト：小泉堯史さん

1944年茨城県生まれ。東京写真短期大学(現・東京工芸大学)、早稲田大学を卒業後、1970年黒澤プロに参加。黒澤明監督の『影武者』から遺作となった『まあだだよ』まで助監督を務め、遺稿脚本『雨あがる』で初監督。本作でヴェネチア国際映画祭緑の獅子賞を受賞。その後、『阿弥陀堂だより』『博士の愛した数式』『明日への遺言』を監督。最新作は役所広司、岡田准一主演の『鯛ノ記』。

*13時~『雨あがる』上映あり

「父 黒澤明から受け継いだこと」 1月13日(金) 11:00~

チケット発売日:12月3日(土)



ゲスト：黒澤和子さん

1954年黒澤明監督の長女として東京に生まれる。ファッション関連の仕事を経て、1988年映画界に入り、『夢』以降の黒澤監督晩年の3作品や『雨あがる』の衣裳を手掛ける。近年では三谷幸喜監督『清須会議』、堤幸彦監督『真田十勇士』やNHK連続テレビ小説『とと姉ちゃん』、是枝裕和監督『海よりもまだ深く』など時代劇から現代劇まで幅広く活躍し、新作も多数控える。著書に『黒澤明が選んだ100本の映画』などがある。

*13時~『七人の侍<デジタルリマスター版>』上映あり

~映画『天国と地獄』ロケ地散策ツアー~



『天国と地獄』は
11月29日(火)
10:30/14:00、
30日(水) 10:30、
12月1日(木) 10:30
に映画の上映がございます。
映画鑑賞とあわせて、ぜひ
ご参加ください。

鎌倉・腰越周辺でも撮影された映画『天国と地獄』は、東京オリンピック前年の年となる1963年に公開されました。解説付きで当時の面影を残すロケ地を一緒に巡ってみましょう。

【開催日時】11月30日(水) 14:00~15:30
【参加人数】15名(先着順)【参加費】無料(交通費は別途各自負担)
【申し込み方法】10月15日(土)より受付開始。電話(0467-23-2500)、ファックス(0467-23-2503)にてお名前、連絡先をお伝え下さい。
【予定順路】極楽寺駅集合 → 腰越駅(現地解散)

鎌倉市秋の施設公開のご案内 旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)一般公開(無料)
10月1日(土)、2日(日)10:00~16:00

当館敷地内に建つ「旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)」は、背後の山並みと椽瓦葺きの屋根が調和した、木造平屋建ての和風建築で、平成22年9月に鎌倉市で初めて「景観重要建造物」に指定されました。年に2回、春と秋に一般公開しています。
※荒天時は公開が中止となる場合があります。

チケット取り扱いお問い合わせ先

◆たらば書房 0467-22-2492 ◆島森書店 鎌倉店 0467-22-0266
◆上州屋(大船駅前の文房具店) 0467-43-1000

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
TEL:0467-23-2500
HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

開館時間	休館日
9:00~17:00 (入館は16:30まで)	毎週月曜日 (祝日の場合は開館)
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください	9月20日(火)、10月11日(火) 12月29日(木)~1月3日(火)、 1月10日(火)



特別展 2016.9.16(金)~2017.1.15(日)
世界のクロサワとミフネ
監督 黒澤明と俳優 三船敏郎



鎌倉市川喜多映画記念館

特別展
世界のクロサワとミフネ
 監督 黒澤明と俳優 三船敏郎

— 戦後の日本映画を一躍世界に知らしめ、現在も世界に愛され続ける二人の映画人

昭和26(1951)年9月10日、世界最古の歴史を誇るヴェネチア国際映画祭でグランプリ「金獅子賞」を受賞し、世界の表舞台に立った映画『羅生門』。それは日本映画とその芸術性を世界に知らしめ、戦後の混乱期の日本人に勇気と誇りを与えた歴史的な出来事でした。翌年にはアメリカのアカデミー賞で名誉賞も獲得、監督の黒澤明はもとより、主演の一人である三船敏郎の名が目されました。『酔いどれ天使』から始まった黒澤明と三船敏郎のコンビによる16作品は、その後も映画史に燦然と輝き、また、ルーカス、スピルバーグら、世界の映画人は敬意を込めて二人を「クロサワ」「ミフネ」と呼びます。

本企画展は、黒澤明監督と三船敏郎の業績をゆかりの品々や外国の映画資料の展示、そして、代表作の映画上映と共に辿ります。現在も多くの人々に愛され続けている「世界のクロサワとミフネ」の魅力をぜひお楽しみ下さい。

特別展観覧料金 ()内は団体料金
 一般 300円(210円) 小・中学生 150円(105円)



ヴェネチア国際映画祭「羅生門」金獅子賞トロフィー(1951年)



『用心棒』(1961年)海外版ポスター

チラシデザイン/手塚希
 協力: K&K Bros.、三船プロダクション、東京国立近代美術館フィルムセンター、野上照代氏、横田寿文氏

映画鑑賞料金

一般 1,000円 小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。
 ※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

チケット発売日

9月の上映作品-8月20日(土) 11月の上映作品-10月15日(土)
 10月の上映作品-9月17日(土) 12月の上映作品-11月19日(土)
 1月の上映作品-12月3日(土)

チケットのお取り扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

酔いどれ天使 Drunken Angel 9月19日(月・祝)10:30/14:00
 9月21日(水)、22日(木・祝)14:00



※19日14:00の回 英題字幕付き上映

◎1948年/東宝/白黒/35mm/98分
 ◎監督:黒澤明◎出演:志村喬、三船敏郎、山本礼三郎、木暮実千代、中北千枝子
 黒澤と三船の初コンビ作。前年公開された谷口千吉監督『銀嶺の果て』でデビューした三船に黒澤が惚れ込み起用した。反骨精神に溢れる貧乏医師を志村が、若く血気盛んなやぐさを三船が演じ、強烈な魅力を放つ。

野良犬 Stray Dog 9月23日(金)10:30/14:00
 9月24日(土)、25日(日)14:00



◎1949年/新東宝=映画芸術協会/白黒/35mm/122分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、志村喬、浪島雄三、三好雅也、千石規子
 町で拳銃を盗まれた若い刑事が、凶行を重ねる犯人を追って、ベテラン刑事と真夏の東京を彷徨い歩く。闇市や人物の設定など戦後間もない世相の描写が際立っている。当時16歳の淡路恵子が黒澤に抜擢されて映画デビュー。

生きものの記録 I Live in Fear 10月4日(火)10:30/14:00
 10月5日(水)、6日(木)14:00



◎1955年/東宝/白黒/35mm/103分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、志村喬、千秋実、清水将夫、三好雅也
 第五福丸丸事件や米ソの核軍備など、核を巡る動きが世界で活発化した時期に作られた社会派ドラマ。当時35歳だった三船は原水爆への恐怖から誇大妄想に陥る老人を活力溢れる姿で演じた。今この時代に見る意味は大きい。

羅生門 (デジタル完全版) Rashomon 10月7日(金)10:30/14:00
 10月8日(土)13:00/10月9日(日)14:00



※8日15:00~トークイベントあり

◎1950年/大映京都/白黒/デジタル/88分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、栗田雅也、京マチ子、志村喬、千秋実
 ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞し、日本映画に対する国際的な評価を一気に高めた歴史的な名作。複数の視点から異なる物語が構築される手法が、世界の名だたる監督たちに多大な影響を与えた。

無法松の一生 Rickshaw Man 10月18日(火)10:30/14:00
 10月19日(水)、20日(木)14:00



◎1956年/東宝/カラー/35mm/104分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、高峰秀子、芥川比呂志、船山汎子、笠智衆
 戦中に阪東妻三郎主演で製作されたが、検閲により不完全な形で公開されたため、戦後稲垣監督自らリメイクし、ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞した。荒くれ者だが人情に厚い人力車夫を三船が生き生きと演じる。

蜘蛛巣城 Throne of Blood 10月21日(金)10:30/14:00
 10月22日(土)、23日(日)14:00



◎1957年/東宝/白黒/35mm/110分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、山田五十鈴、志村喬、久保明、太刀川洋一
 シェイクスピアの戯曲『マクベス』を戦国時代に置き換えて翻案した作品。シェイクスピアの映画化は数知れないが、中でも黒澤作品は非常に評価が高い。三船演じる驚津武時の最後は見る者を圧倒する迫力。

雨あがる Rain lifts 11月1日(火)10:30/14:00
 11月2日(水)14:00、11月3日(木・祝)13:00



※3日15:00~トークイベントあり

◎2000年/「雨あがる」製作委員会/カラー/35mm/91分
 ◎監督:黒澤明◎出演:寺尾聰、宮崎美子、三船敏郎、原田美枝子、加藤雅之、仲代達矢
 武芸の達人だがお人好しな浪人と、その妻を中心とした山本周五郎原作の時代劇。黒澤の遺稿を元に、長年助監督を務めた小泉堯史が監督し、黒澤組が結集して完成させた。三船の長男、史郎が父を彷彿とさせる好演を見せる。

隠し砦の三悪人 The Hidden Fortress 11月4日(金)10:30/14:00
 11月5日(土)、6日(日)14:00



◎1958年/東宝/白黒/35mm/139分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、千秋実、藤原釜足、藤田進、上原美佐
 数ある黒澤作品の中でも特に娯楽色が強く、文句なく楽しめる大作。超人的な役どころの三船は、馬に乗ってのアクションをスタントなしでこなした。ジョージ・ルーカス監督曰く、『スター・ウォーズ』にも影響を与えた。

どん底 The Lower Depths 11月15日(火)10:30/14:00
 11月16日(水)14:00、11月17日(木)14:00



※16日14:00の回 英語字幕付き上映

◎1957年/東宝/白黒/35mm/125分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、山田五十鈴、香川京子、中村錦太郎、千秋実
 ロシア文学に造詣の深い黒澤が、ゴッリキーの同名戯曲を翻案し、江戸時代の長屋に生きる貧しき人々の生活を描いた群像劇。暗い主題ながらも個性豊かな役者たちによる味わい深い競演が見どころ。

用心棒 Yojimbo 11月18日(金)10:30/14:00
 11月19日(土)、20日(日)14:00



◎1961年/黒沢プロ=東宝/白黒/35mm/110分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、仲代達矢、岡譲子、山田五十鈴、加東大介
 黒澤映画最大のヒット作であると同時に、リアルな立ち回りで時代劇における殺陣のあり方を根本から変えたと言われる野心作。三船はヴェネチア国際映画祭にて日本人初の主演男優賞を受賞した。

天国と地獄 High and Low 11月29日(火)10:30/14:00
 11月30日(水)、12月1日(木)10:30



◎1963年/黒沢プロ=東宝/白黒/35mm/143分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、仲代達矢、香川京子、三橋達也、木村功
 幼児誘拐をテーマに手に汗握る捜査が展開する社会派サスペンスの傑作。当時の社会にも大きな反響を生んだ。映画の重要な場面で鎌倉・腰越も登場し、江ノ電や江ノ島が事件の鍵を握るのも見所の一つ。

赤ひげ (デジタルリマスター版) Red Beard 12月2日(金)10:00/14:00
 12月3日(土)、4日(日)13:30



◎1965年/黒沢プロ=東宝/白黒/DCP/185分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、加山雄三、山崎暎子、田中幸子、桑野みゆき、香川京子
 斜陽期に差し掛かった映画界にあって、約2年の歳月をかけて黒澤が完成させた人間ドラマ。黒澤と三船最後のコンビ作であり、豪傑な老医師を演じた三船は二度目のヴェネチア国際映画祭主演男優賞を受賞した。

途中休憩あり

銀嶺の果て Snow Trail 12月13日(火)10:30/14:00
 12月14日(水)、15日(木)14:00



◎1947年/東宝/白黒/35mm/88分
 ◎監督:谷口千吉◎出演:三船敏郎、志村喬、若山セツ子、河野秋武、小杉義男
 復員後第一期東宝ニューフェイスとなった三船が、野生的な役者を探していた監督の目に留まり本作で映画デビュー。黒澤が執筆したオリジナル脚本『山小屋の三悪人』の映画化であり、後のコンビに繋がった。

乱 (デジタルリマスター版) Ran 12月16日(金)10:30/14:00
 12月17日(土)、18日(日)14:00



◎1985年/日本=フランス/カラー/デジタル/162分
 ◎監督:黒澤明◎出演:仲代達矢、寺尾聰、根津甚八、鹿丈介、原田美枝子、宮崎美子
 シェイクスピアの『リア王』を元に、戦国武将とその息子達や兄弟同士の確執を描いた悲劇。大規模なセットと撮影、ワダエミがアカデミー賞を受賞した衣裳デザインなど、豪華絢爛な時代絵巻に圧倒される。

生きる (デジタルリマスター版) Ikiru 2017年1月6日(金)10:30/14:00
 1月7日(土)、8日(日)14:00



◎1952年/東宝/白黒/DCP/143分
 ◎監督:黒澤明◎出演:志村喬、日守新一、田中春男、千秋実、小田切みさ、左ト全
 黒澤作品に欠かせない俳優、志村喬が一世一代の名演を見せるヒューマニズム映画の傑作。毎日を無気力に生きていた男が、癌をきっかけに変わっていく様を描く。本作から集団での脚本執筆が始まった。

七人の侍 (デジタルリマスター版) Seven Samurai 2017年1月9日(月・祝)13:00
 1月11日(水)~15日(日)13:00



◎1954年/東宝/白黒/DCP/207分
 ◎監督:黒澤明◎出演:三船敏郎、志村喬、月形竜之介、島崎雪子、藤原釜足、加東大介
 当時としては破格の規模で製作された大作であり、黒澤の代表作。戦国時代を舞台に、野武士に襲われる村と農民に雇われた侍たちが協力して立ち向かう。大胆かつ緻密な描き方で完全主義に基づく黒澤美学が確立された。

途中休憩あり

※画・音の良好でないものがあります。場合によって上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。